

(譯文)

第...條

日本國及露西亞國ハ薩哈噠島又ハ其ノ附近若クハ所屬島嶼ニ於ケル各自ノ領地内ニ  
堡壘其ノ他之ニ類スル軍事上工作物ヲ築造セサルコトニ互ニ同意ス又兩國ハ各宗谷  
海峽及韃靼海峽ノ自由航海ヲ妨礙スルコトアルヘキ何等ノ措置ヲ執ラサルコトヲ約  
ス

「ウヰッテ氏ハ右草案一覽ノ後曰ク『是ハ大體ニ於テハ異議ナキモ條數モ非常ニ多ク又規  
定セントスル所モ甚タ詳細ナリ本員ハ條約ニ於テ斯ノ如キ詳密ナル規定ヲ設クルコト  
ヲ欲セス條約ニハ只肝要ノ點ノミヲ擧ケ詳細ノ手續ニ關スルコトハ之ヲ別約ニ讓リテ  
ハ如何全體他ノ講和條件ニ就テハ箇條數モ少ク字句モ多カラサルニ此ノ土地割讓ト云  
フカ如キ露國ノ威嚴ト國民ノ自負心ヲ最モ甚シク害スル事柄ニ關スル規定ニ限り數章  
ニ涉リ長々シキ文句ヲ以テ條約ニ上スコトハ甚タ不快ナリ』

小村男曰ク『要點丈ケヲ條約ニ載セ詳細ノ手續ノコトハ別約ニ讓ルコトハ異議ナシ然ラ  
ハ起草委員ヲシテ左様ニ取計ハシメム』

「ウヰッテ氏曰ク『草案第一ノ個條ニ於テ附近及所屬諸島』ト云フコトアリ此ノ所屬諸島ト  
ハ如何ナルコトヲ云フヤ』

小村男曰ク『所屬諸島トハ薩哈噠島ノ行政管區ニ屬スル諸島ト云フ義ナリ此ノ所屬ノ』ナ  
ル文字ハ意義明了ナラストノコトナラハ除キ去ルモ差支ナシ』

「ウヰッテ氏曰ク『薩哈噠島ヲ支配スル行政管區ト云ヘハ極メテ廣キ意義ト爲リ非常ノ遠方ニ迄及フコト、ナルヲ以テ此ノ文字ハ取去ラレタシ』」

小村男曰ク『諸、單ニ附近ノ諸島トナサム』

「ウヰッテ氏曰ク『草案第二ノ個條ニ於テ讓渡地ノ住民ハ二箇年以内ニ不動産ヲ賣却シテ撤退スルニアラサレハ日本政府ノ都合ニ依リ日本臣民ト見做ストノ規定ハ酷ナリ領土ノ割讓ハ之ニ由リテ該領土ニ於ケル住民ノ私權ニ害ヲ及ホサルコト、ナスニアラサレハ公平ヲ缺クナラン只領土ニ於ケル主權ヲ移轉スルノ結果新主權者タル日本國ノ法律、法權ニ服従スル以上ハ既有ノ權利ハ之ヲ尊重スルコト、致シタシ又同島ニハ現ニ或年限間官廳ト特約ヲ結ヒテ水運業ノ特權ヲ有スルモノアリ尤モ此等特權ヲ有スルモノハ本員ノ記憶スル所ニテハセミオノフ商會外一二ニシテ極メテ少數ナレハ實際ニ於テハ左シタル大事件ニハアラサルモ免ニ角現住民ノ是迄有シ居レル所有權及營業權ハ主權ノ移轉ニ係ハラス之ヲ尊重スルコト、爲サルヘカラス又本條文中 *se trouvant dans l'incapacité politique ou administrative* (政事上又ハ行政上ノ權能ヲ失ヒタル)トハ如何ナル意義カ』

小村男曰ク『是ハ犯罪ニ因リ權能ヲ完全ニ享有セサルモノヲ云フ』

「ウヰッテ氏曰ク『此等ノ權能不完全ナル者ヲ南薩哈噠ヨリ放逐セラル、コトハ不得已トスルモ此等ノ者カ該地域内ニ有スル所有權ハ之カ爲メニ侵サル、コトナカラシコトヲ要ス』」

「デニソン氏説明シテ曰ク『一體日本ニ於テハ外國人ニ土地所有權ヲ許サルヲ以テ本案

ノ如ク規定セントスルナリ是レ日清講和條約ニ於テ臺灣ニ關シ規定シタル所ト同一ナリ

小村男曰ク『日本ノ法律ニ服從セシムルコトノ條件ノ下ニ於テ該地ニ存在スル露國臣民ノ所有權及營業權ヲ尊重シ且權利ヲ缺ケル者ニ對シテモ所有權ヲ侵害セサルヘキコトヲ約スルハ差支ナキヲ以テ左様ニ取計ハム』

「ウヰッテ」氏曰ク『草案第三ノ個條末尾ニ在ル韃靼海峽トハ何ヲ指スカ』

小村男曰ク『薩哈噠島ト大陸ノ間ノ海峽ナリ』

「ウヰッテ」氏曰ク『此韃靼海峽ナルモノ、範圍如何』

小村男曰ク『薩哈噠島ノ全延長丈ケノ長サヲ云フ』

「ウヰッテ」氏曰ク『只海峽ノ自由航海ヲ妨クル措置ヲ執ラスト云フコトハ甚タ漠然トシテ如何ナル區域迄航海ノ自由ヲ保證スルノ義ナリヤ分明ナラサルカ如シ』

小村男曰ク『島ト大陸トニ挾マレアル處ハ海峽ナリ其挾マレアル所ヲ出テ、大海ニ入レハ海峽ノ區域外ト爲ル』

「ウヰッテ」氏曰ク『本員ハ一體此邊ハ如何ナル地形ニ成リ居ルヤ詳ニ承知セス海峽ノ幅ハ如何程アリヤ誰カ詳細ナル地圖ヲ所持セサルカ』

（此ノ時室内ニ詳細ノ地圖ナカリシヲ以テ日本ノ書記官一人之ヲ取りニ行カントシタルカ全權ハ之ヲ必要ト認メサリシニ付地圖ハ提出セス）

「ウヰッテ」氏曰ク『此海峽ノ自由航海ヲ保證スト云フコトハ此ノ草案ノ書方ニテハ穩當ナ

ラサルニ付左ノ如ク改メタシ』

Ils s'engagent, de même, à garantir le principe universellement reconnu de la liberté de navigation des Détroits de La-perouse et de l'Arctie. (又兩國政府ハ一般ニ認メラレタル自由航海ノ原則ヲ宗谷韃靼

兩海峽ニ於テ保障スヘキコトヲ約ス)

(此ノ書面ハ「マルテンス」氏ヨリ小村男ニ手交セリ)

小村男曰ク『此ノ書方ニテハ何事ヲ意味スルヤ明了ナラス』

「マルテンス」氏曰ク『是ハ海峽ノ自由航海保證ト云フコトニ付是迄各國ニ於テ行ハレタル主義ヲ此ノ兩海峽ニ對シテ適用セント云フコトナリ』

(「マルテンス」氏ハ低聲ニテ「ダーダネルス」海峽ニ關スル先例モアリ』ト述フ)

小村男曰ク『一體此ノ事ハ宗谷海峽ニ關シテ露國全權ヨリ要求セラレタル約束ヲ日本全權カ承諾スルニツキ之ヲ韃靼海峽ニ關シテ相互的ト爲サンコトヲ主張シ「ウ井」ッテ「氏」之ニ同意セラレタルモノニシテ其ノ文句モ「ウ井」ッテ「氏」提議ノ通りニ爲リ居レルナリ今更之ヲ變更セントスルコトハ解スベカラズ』

「ウ井」ッテ「氏」曰ク『然ラハ元ノ通りニ致シ置カム』

(此ノ間「エルモロフ」少將ハ『此ノ字句ニテハ露國ニ不利益ナリ』ト述フ「ウ井」ッテ「氏」ハ『然ラハ何トカ改メムカ』ト推問ス「エルモロフ」少將ハ『最早全權ニ於テ同意ノ旨述ヘラレタル上ハ詮方ナカラシ』ト述フ右ノ問答ニテ薩哈噠島ノ處分及撤兵問題ニ關スル一應ノ談話終ル)

小村男曰ク「扱是ヨリ兩國ノ條約起草委員ニ於テ條約文起草中字句ニツキ意見ヲ異ニシタル諸點ニ就キ協定セム」

「ウ井ッテ」氏曰ク「諾」

「マルテンス」氏曰ク「先ツ條約ノ前文ニ於テ露國委員ハ同文中ニ「兩國ノ陸海軍カ發揚シ文明世界ノ驚歎ヲ博シタル勇武克己ニ敬意ヲ表シ」云々ノ文句ヲ挿入セントシタルカ日本委員ハ不必要ナリトシテ斥ケラレタリ此ノ點ニ就キ全權ノ裁定如何」

小村男曰ク「戦争終結後 皇帝陛下ハ或ハ勅語ヲ賜ヒテ陸海軍ノ勇武忠誠ヲ嘉獎アラセラレ又ハ敵國ノ陸海軍ノ勇武ナリシコトヲ稱シ玉フコトアルヘキモ講和條約文中ニ此等ノ頌辭ヲ掲クルハ事態ニ合ハス之ハ掲ケサルコトヲ可トス」

「ウ井ッテ」氏之ヲ承諾ス

小村男曰ク「韓國ニ關スル條ニ於テ英文ノ measures of guidance, protection and control(指導、保護及監理ノ措置)ニ對スル佛譯ニ mesures de direction, de protection et de contrôle(指導、保護及監理ノ措置)ナル字句アリ此ノ最終ノ contrôle(監理)但シ此ノ佛語ノ文字ハ會計事務監査ノ意義ノミニ解セラル、場合多シナル語ハ英語ノ control(監理)ナル語ニ對シ意義ノ強弱ニ著シキ相違アリ聞ク所ニ依レバ「マルテンス」博士ノ說ニ佛語ノ direction(指導)又ハ指揮ノ意義ヲ有スハ英語ノ guidance(指導)ヨリモ強ク之ニ反シ佛語ノ contrôle(監理)但シ監査ノ意義ヲ通例トスハ英語ノ control(監理)ヨリモ弱ク英文ニテ guidance(指導) protection(保護) and control(及監理)ト云ヘバ弱キ意義ノ語ヨリ漸次ニ強キ意義ノ語トナルモ佛文ニテ direction(指導)又ハ指揮 protection(保護) et contrôle(監理)

監査(ト云へハ強キ意義ノ語ヨリ順ヤニ弱キ意義ノ語ト爲ル由然ルニ英文ノ Parliamentary control (監理)ナル語カ包含スル所ノ意義ハ此ノ佛文ノ三語中孰レニモ包含セラレサルモノアルヲ以テ此ノ儘ノ佛文ニテハ不充分ナリ依テ會議錄又ハ別約ヲ以テ本條ノ佛文ニ於テ用井タル Parliamentary control ナル語ハ同條ノ英文ニ於テ用井タル Parliamentary control ナル語ト同意義ニ解スヘキコトヲ明記シ置カム

「ウ井ッテ氏曰ク承知セリ」

「マルテンス氏ハ此ノ間ニ於テウ井ッテ氏ト私語シタル上小村男ニ向ヒ滿洲ニ於テ日露兩國カ鐵道建設及經營ノ特許ヲ有スルコトハ門戶開放及均等待遇主義ト相容レサルモノニ非ス又右特許ニ依リテ獲得シタル土地ノ區域内ニ於テ日本國及露西亞國臣民ハ他ノ外國民ト等シク互ニ同一ノ權利ヲ享有ス云ヤトノ規定ヲ條約ノ一條トシテ採用スルコト(起草委員會記錄第一末尾參照)ニツキ全權ノ意見如何ヲ問フ

小村男曰ク「此ノ事ハ素ト兩國全權ノ協定ヲ以テ會議錄ニ留メ置クコトト定メタルモノナリ起草委員會ニ於テモ既ニ決セル問題ニアラスヤ今更此ノ事ニ就キ再ヒ議論スヘカラス」

「ウ井ッテ氏曰ク會議錄ニ於テ單ニ會議錄ニ留メテ條約ニハ載スヘカラサル旨明言シタルモノ即チ韓國ニ於テ日本ノ執ルヘキ措置ニシテ韓國ノ主權ニ影響スルモノニ關スル申合せ等ヲ條約ニ掲載スルコトヲ拒絕セララルハ能ク了解セリ然レトモ本件ノ如ク會議錄ニハ只兩國全權カ其規定ヲ設クルコトニ同意シタルコトヲ認メアルノミニシテ之

0369

ヲ條約ニ載スヘシトモ又載スヘカラストノ明言モナキモノハ今ヨリ之ヲ條約ノ一條トシテ採用スルニ何等差支アラシヤ本件ノ外會議議録ニ於テ兩國全權ノ同意ヲ經テ協定セリト掲載セル諸件ハ果シテ之ヲ條約ノ條項ト爲サ、ルノ意歟』

小村男曰ク『條約ノ條項ハ當初ヨリ夫々條項ト爲スノ趣意ヲ以テ提議シ雙方全權ニ於テ討議ノ上其ノ掲載スヘキ條文案迄決定シ來リ其ノ範圍モ明瞭ナレハ之ニ關シテ何等問題無キ筈ナリ然ルニ今ニ至リ更ニ條項ヲ作ラントスルハ協定ノ範圍ヲ超エテ新ナル議論ヲ惹起サントスルモノニシテ斯ノ如クシハ事ノ纏マル際限アルヘカラス今日ノ場合ハ是迄雙方ニ於テ纏メ來リタルモノヲ整齊シテ條約文ト爲スコトノ外何等新ナル話ヲ始ムヘカラス』

「ウヰッテ氏之ヲ承諾ス

次ニ小村男曰ク『旅大租借及長春旅順間ノ鐵道讓渡ニ關シ清國政府ノ同意ヲ經ルコトヲ規定セル文句ハ英文ニ於テ subject to (ヲ經テ)トナリ居レルヲ佛文ニテ a condition de (ノ條件ニ於テ)ト譯スルハ不當ナレハ之ヲ avec (ヲ以テ)ト訂正スヘシ』

「ウヰッテ氏曰ク『承諾セリ此ノ點ニ就テハ起草委員ニ於テ隨分議論アリタル由ナルカ日露兩國共同シテ清國ノ承諾ヲ求ムル以上ハ實際何等差支ナキニアラスヤ』

落合氏曰ク『只今ノウヰッテ氏ノ言ニ就キ全權ノ許可ヲ得テ起草委員會ノコトヲ説明セムカ此ノ點ニ付起草委員會ニ於テ議論ヲ生シタルハ「プランソン」氏カ租借及鐵道ノ讓渡ハ清國政府ノ同意ヲ得ルニアラサレハ行ハレス卽チ清國政府ノ同意ハ該讓渡ニ對スル

0370

不可缺條件(*conditio sine qua non*)ナリト論セラレタルヲ以テ日本委員ハ斯ル解釋ノ苟モ行ハル、虞アル以上ハ該文字ヲ其ノ儘ニ放任スルコト能ハサルヘシトノ意見ヲ述ヘタルニヨリ議論ヲ生シタルナリ』

『フランソン氏曰ク『本員ハ斯ノ如キ議論ヲ爲シタルニアラス』

(一坐笑フ者アリ)

次ニボコチロフ氏ハ「ウヰッテ」氏ノ承諾ヲ求メテ小村男ニ向テ曰ク『滿洲ニ於ケル鐵道ヲ日露兩國ニ於テ純然商工業ノ目的ニ經營スヘキコトヲ約スル條ニ於テ *Le Japon et la Russie s'engagent à retenir et à exploiter* (日本國及露西亞國ハ……………保有シ且經營シ……………ヲ約ス)ト云フ文句アリ此ノ *à retenir et* (保有シ且)ナル文句ハ全ク不必要ナレハ之ヲ削除スルコトヲ主張シ置ケリ御承諾成ルヘキヤ』

小村男曰ク『此ノ文字ハ貴方ノ全權ヨリ出タルモノニシテ貴方ノ案ノ儘協定シテ斯ク成リ居レルナリ然レトモ今更貴方ニ於テ之ヲ削除スルコトヲ必要トセラル、ナラハ削除ニ同意スルモ差支ナシ』

右ニテ起草委員會ニ於テ懸案ト爲セシ諸點ノ討議アリ其ノ他ノ諸條項ハ雙方全權ニ於テ格別議論モ無ク又雙方ノ委員ヨリ全權ノ會合ニ提出シテ裁決ヲ求ムヘキ事柄モ無キヲ以テ是ニテ全權ノ會見ヲ了ル時ニ午後十時ヲ過ク

0371